

第155回獣医学会学術集会
第7回獣医学教育改革委員会シンポジウム

感染症等対策分野における 全国的実習システムの構築

東京大学大学院農学生命科学研究科
明石博臣

獣医学生のための実習・インターンシッププログラム

～ 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業（文部科学省）～

HOME

本事業の目的

実施体制

感染症等対策分野

- ▶ プログラム一覧
- ▶ プログラム内容・日程
- ▶ 講義プログラム

産業動物臨床分野

教員の皆様へ

学生の皆様へ

参加学生の声

全国大学獣医学関係
代表者協議会

日本国内で獣医学関係の教育組織を有する国立大学法人10大学、公立大学法人1大学、私立大学5大学の代表者から組織される協議会です。



山口大学
佐藤先生

獣医学生のための実習・インターンシッププログラム

口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業（文部科学省）

東京大学および岐阜大学では、他の協力大学および高度外部専門機関と連携し、我が国の家畜防疫対策を担う獣医師、動物および人の感染症、食中毒への対策など公衆衛生分野を担う獣医師、および産業動物臨床を担う獣医師を養成するための教育の充実に図るため、各大学の基盤教育を補助する教材・プログラムと高度で実践的な実習・インターンシッププログラムを提供します。

▶ [本プログラムのイメージ図](#) PDF847KB

現在募集中のプログラムはありません。

くこれまで募集したプログラム例>

獣医学生のための 実習・インターンシッププログラム -国際獣疫事務局 (OIE)での実習-

[2012年10月30日～11月2日]

- ・場所: 国際獣疫事務局 (OIE) アジア太平洋地域事務所
- ・募集人数: 3名
- ・参加費: 無料
- ・お問合せ: akashih@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

国際獣疫事務局 (OIE) が開催する国際会議に参加し、会議出席、討議、会議参加者との交流を体験してみませんか。詳細は、<http://plaza.unin.ac.jp/~vetedu/practice/index.html>

実施機関: [OIEアジア太平洋地域事務所](#)

募集人数: 3名

実施期間: 2012年10月30日～11月2日

応募締切: 2012年9月28日

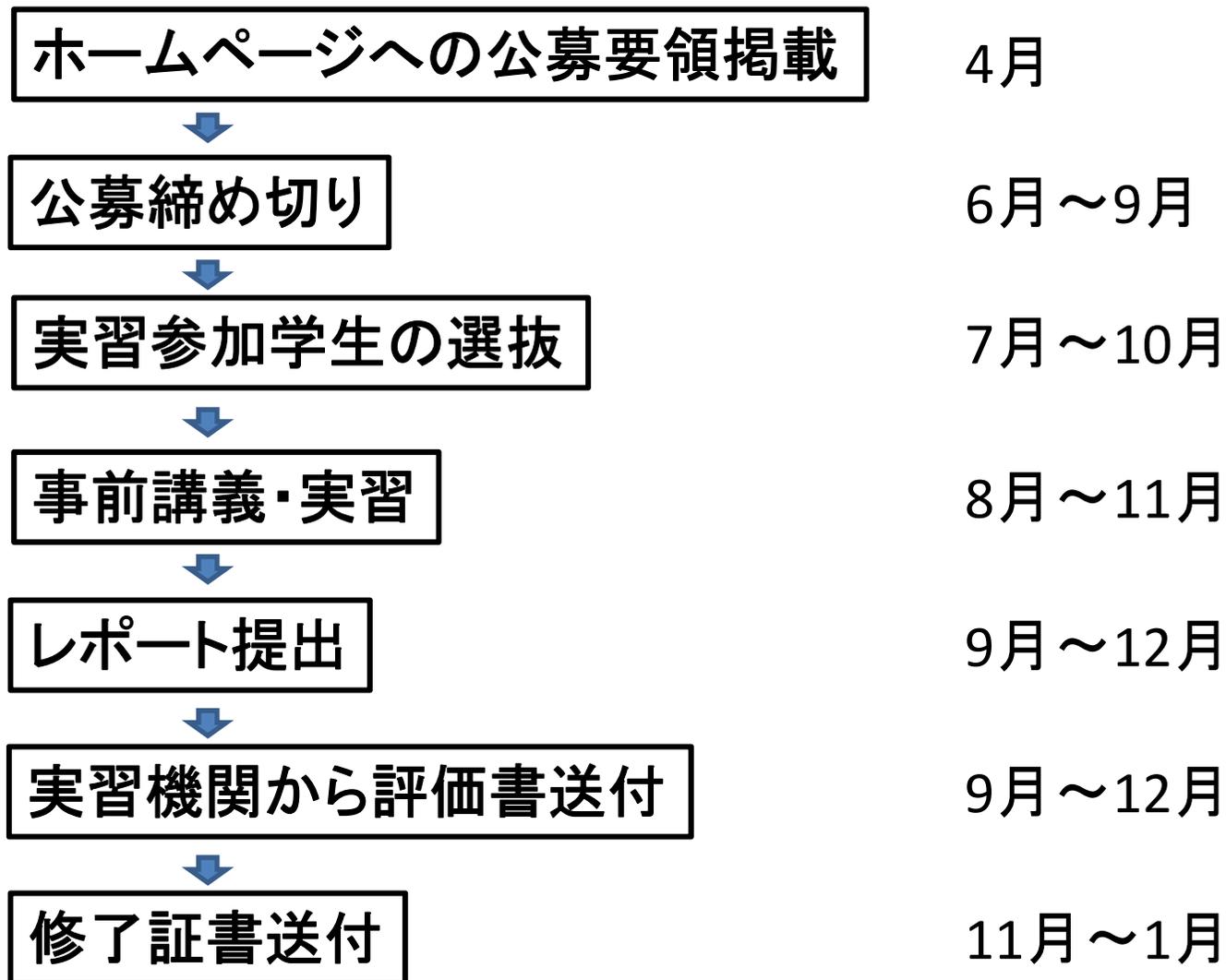
▶ [詳細はこちら](#)

What's NEW

2013年1月16日

▶ 「参加学生の声」を更新しました。

平成24年度実習に至るまでの経過



平成23年度、24年度実習

平成23年度

国際獣疫事務所(OIE)実習

平成23年11月28日～12月2日

動物感染症侵入防止実習

平成24年3月12日～3月16日

平成24年度

動物感染症予防・防疫実習

平成24年8月20日～8月31日

人獣共通感染症・食品由来感染症実習

平成24年8月27日～9月3日

動物用医薬品検定等実習

平成24年8月27日～9月7日

馬感染症・臨床実習

平成24年8月27日～9月8日

動物感染症侵入防止実習

平成24年9月3日～9月14日

国際家畜感染症防疫実習

平成24年9月18日～9月21日

国際獣疫事務所(OIE)実習

平成24年10月30日～11月2日

平成23年度、24年度実習応募者数

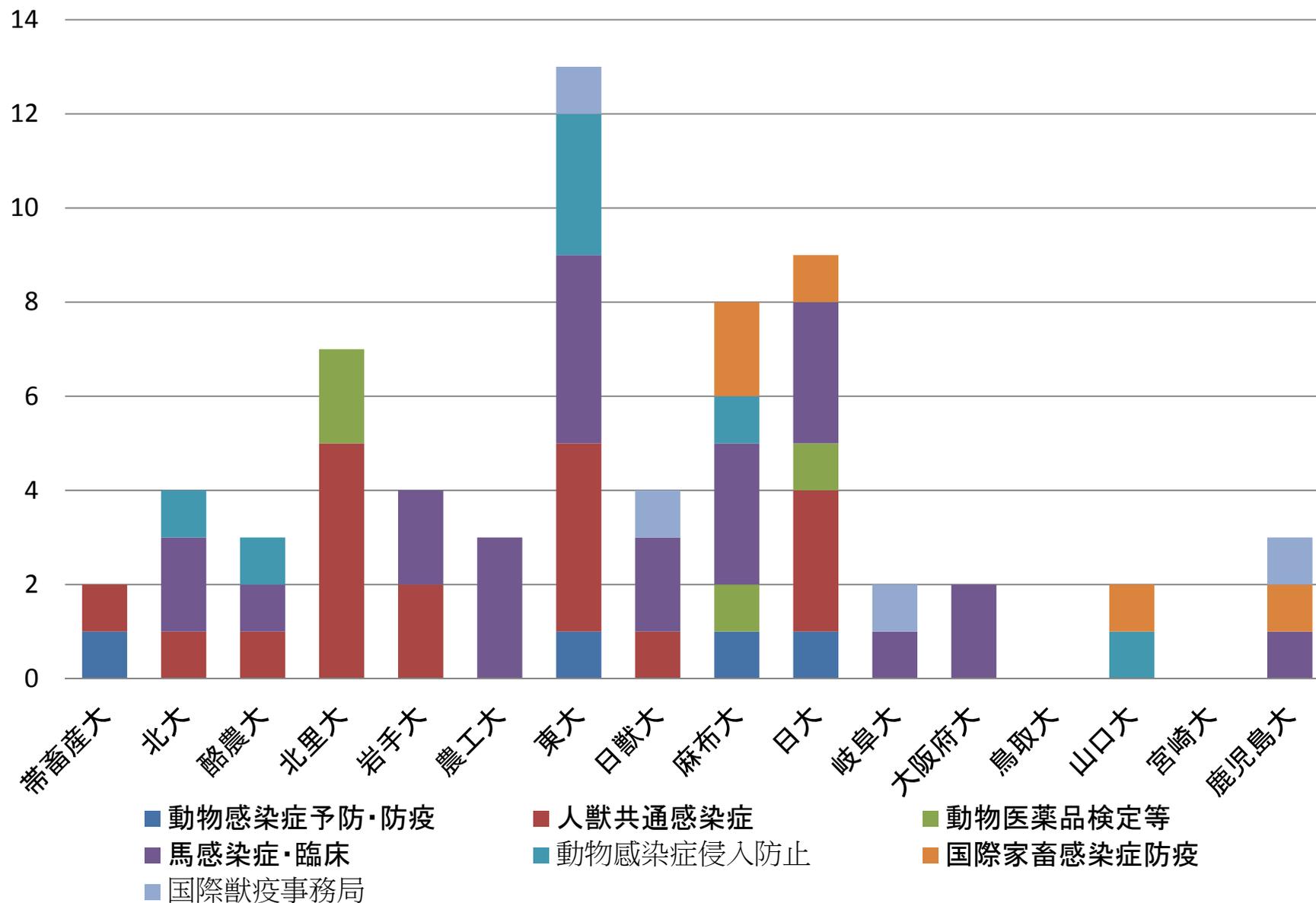
平成23年度

実習インターンシッププログラム名	実施機関	募集人員	応募人員	受講者数
動物感染症侵入防止	動物検疫所	3	11	5
国際獣疫事務局	国際獣疫事務局	3	4	4

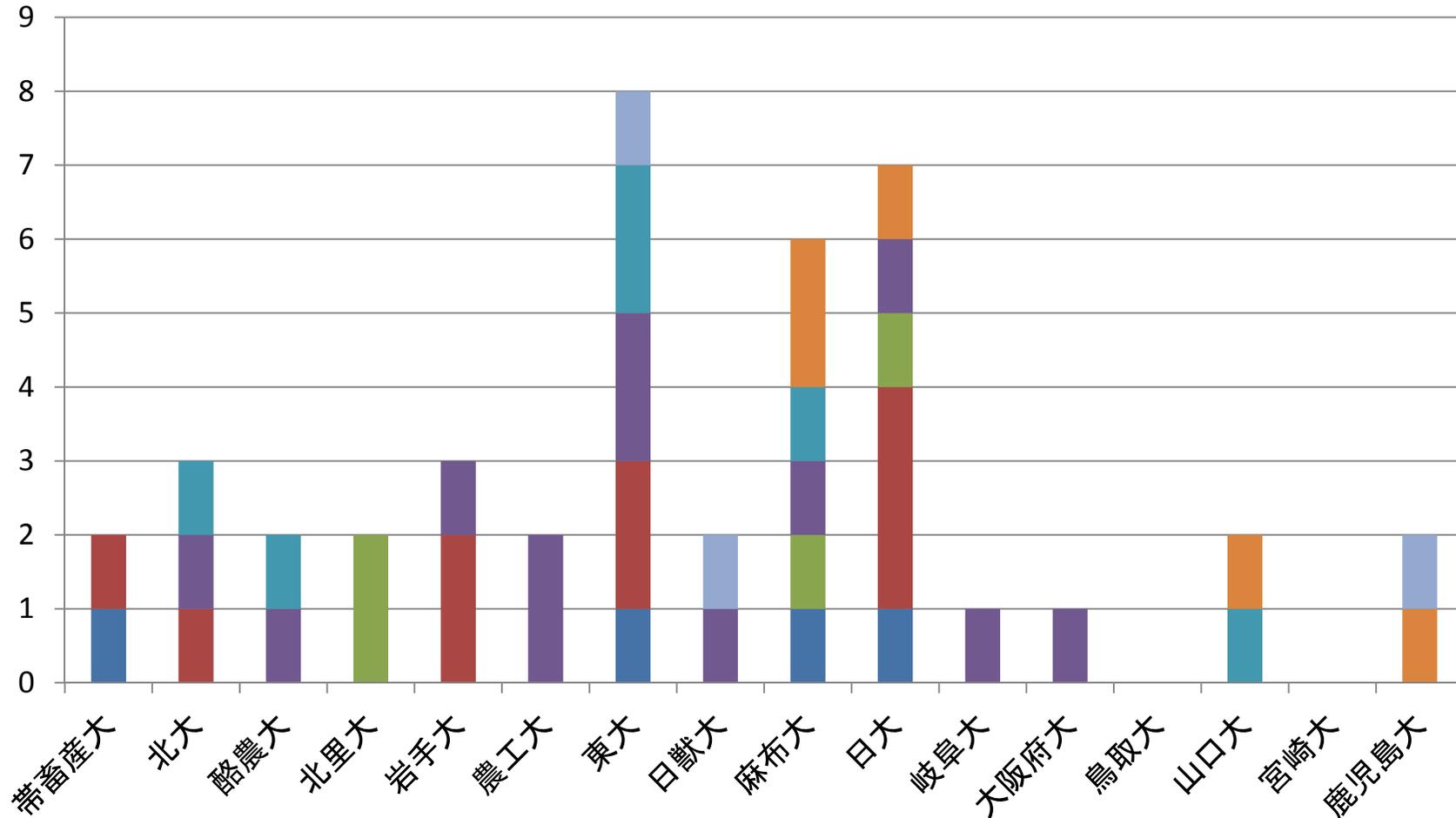
平成24年度

実習インターンシッププログラム名	実施機関	募集人員	応募人員	受講者数
動物感染症予防・防疫	動物衛生研究所	3	4	4
人獣共通感染症・食品由来感染症	国立感染症研究所	6	18	9
動物医薬品検定等	動物医薬品検査所	5	4	4
馬感染症・臨床	日本中央競馬会	10	23	12
動物感染症侵入防止	動物検疫所	6	7	6
国際家畜感染症防疫	東京農工大学	5	5	5
国際獣疫事務局	国際獣疫事務局	3	4	3

平成24年度応募学生の所属大学



平成24年度実習参加学生



- 国際獣疫事務局
- 国際家畜感染症防疫
- 動物感染症侵入防止
- 馬感染症・臨床
- 動物医薬品検定等
- 人獣共通感染症
- 動物感染症予防・防疫

実習参加学生の困ったこと

- ・事前講義を未受講で、ファイル受領が実習直前
 - ・最終日のプレゼンに対する準備期間不足
 - ・日誌の負担大
 - ・交通と宿泊場所の確保
 - ・費用の全額負担
 - ・事前講義との時間差
 - ・決定通知が遅い
 - ・移動が大変
 - ・事前にプログラムや持ち物の周知
 - ・交通費の高さ
 - ・買い物が不便
 - ・往診に同行するのが大変
 - ・2週間の不在で、動物の世話を人に頼まねばならない
 - ・交通費の補助があると良かった
 - ・事前プログラムの場所見落とし
 - ・事前講義日程の開示が遅い
 - ・参加申込用紙の入手に手間取った
 - ・卒論前で、実習との両立に忙しかった
 - ・講義や実習内容を事前に知りたかった
- 
- 平成25年度は、なるべく事前講義に続いて実習

平成25年度予定実習

	実習インターンシッププログラム名	実施機関
1	動物感染症予防・防疫実習	動物衛生研究所
2	人獣共通感染症・食品由来感染症実習	国立感染症研究所
3	動物医薬品検定等実習	動物医薬品検査所
4	馬感染症・臨床実習	日本中央競馬会
5	動物感染症侵入防止実習	動物検疫所
6	国際家畜感染症防疫実習	東京農工大学
7	国際獣疫事務局(OIE)実習	国際獣疫事務局
8	飼料安全検査実習	農林水産消費安全技術センター
9	病性鑑定実習	九州、関東、東北地域の 家畜保健衛生所